

事前質問・意見一覧表

2. 地域経済の再興

(1) 水産業の再興

● 質問

No.	内容	担当課
1	意見への対応状況：P3 No.7 ・養殖事業への地元業界の関心度合いはどうか。また、情報交換、勉強会は実施されているのか。	水産事務所
	【回答欄】 沿岸漁協の会合等においては、養殖事業に関する話題等はこれまで出ておりません。現在漁協で実施している養殖事業は「昆布」ですが、事業の後継者確保に御苦労されております。新たな養殖についての勉強会等は実施しておらず、情報収集をしている段階でございます。	
2	意見への対応状況：P3 No.8 ・県外等全国的に広げていく計画等はあるのでしょうか。(例：前沖さば等)	水産事務所
	【回答欄】 八戸漁港で水揚げされる主力魚種はイカとサバであります。八戸前沖さばにつきましては、八戸商工会議所に事務局をおく「八戸前沖さばブランド推進協議会」が積極的に全国のイベントへ参加したり、東京、大阪にある居酒屋を拠点としてPRに努めております。一方、イカにつきましては、全国的にPRをしていく具体的な計画はございませんが、市が事務局である「イカの街はちのへ連絡協議会」において、情報発信・観光誘客等に関することについて協議しております。イベントとして8月10日のイカの日によりイカ料理コンテストを開催し、ホームページにレシピを公開しております。	

● 意見

No.	内容	担当課
3	施策シート：P9 施策を取り巻く課題や論点 ・水産業としての機能が復旧してきていることを認識できました。東日本の水産業全体の復興に寄与する産業モデルの構築においては、これまでの八戸市の水産業の位置をさらに他地域にはない特徴を含めて高めていただきたいと思います。	水産事務所
	【回答欄】 八戸漁港で水揚げされるサバに関して、今年2月に市内の加工場1社がEU認定を取得したことにより、漁船、産地市場、加工場一連でEU輸出基準をクリアできました。EUへの輸出ができるフードチェーンが構築できているのは、全国で唯一当市だけなので、さらなる漁船登録、加工場認定取得を働きかけながら、優位性の活用を考えてまいります。	

(2) 農林畜産業の再興

● 質 問

No.	内 容	担当課
4	<p>意見への対応状況：P4 No.9</p> <p>・青森県は隣接する岩手県や秋田県に比べ畜産業に対する環境基準が厳しいと聞いていますが、緩和の見通しは如何でしょうか。県内に関連企業の誘致を促進するためには、環境に十分配慮しつつもある程度の基準緩和は必要だと思います。</p>	農林畜産課
	<p>【回答欄】</p> <p>青森県環境影響評価条例における畜産施設の規模要件については、県は本年2月に畜産施設の環境状況調査を踏まえ、規模要件を据え置き、5年後に畜産施設の状況を確認するとしています。</p> <p>市では、畜産振興の観点から平成26年度より県に対し規模要件の緩和を要望しており、今年度も要望しております。</p>	
5	<p>施策シート：P10 参考指標の動向</p> <p>・園芸用ビニールハウスのデータにおいて復旧率が86.7%と示されています。他作物への転換や他業種移行などもあり、状況によっては、100%を目指す指標が現状と合わない場合もあると思います。現状をお示してください。</p>	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <p>園芸用ビニールハウスでは主にイチゴを栽培しており、ビニールハウスを使用しない「あしたば」等の他作物への転換や離農等により100%に達しない状況。</p> <p>いちごを含むこれら品目については、継続して支援。</p>	
6	<p>施策シート：P15 No.14</p> <p>畜産業振興事業</p> <p>・【今後の予定】において「環境影響評価条例の規模要件の緩和を要望する」とありますが具体的な内容はどのようなもののでしょうか。要件緩和が環境の悪化につながる恐れはないのでしょうか。</p>	農林畜産課
	<p>【回答欄】</p> <p>青森県での現在の規模要件は、家畜の飼養数により定められており、また、鶏舎も対象となっています。</p> <p>隣県であり、青森県と同様畜産が盛んな岩手県の場合、畜舎から排出される汚水量が基準となっており、また鶏舎は対象に含まれておりません。</p> <p>このことから、当市は畜産振興の観点から県に対し規模要件の緩和を26年度より要望しております。</p> <p>規模要件緩和と環境の関係では、畜産施設の新設増設にあたっては、事業者はその規模に応じた排せつ物処理施設等環境面での取組を行わなければならないため、規模要件緩和が環境悪化に結びつくことはないものと認識しております。</p>	

● 意見

No.	内容	担当課
7	<p>意見への対応状況：P4 No.12</p> <p>・一年一年南郷の促進は進んでいるようには見受けられるが、グリーンツーリズム関連の農園はブルーベリーのみではないと思う。果物をはじめ、花（そば・ひまわり・ラベンダー）など一年を通して充実可能になりつつあるので、さらなる努力を期待する。</p>	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <p>観光農園の主な品目は、ブルーベリーの他にいちご、さくらんぼ、りんご等があり、通年可能。</p> <p>今後も引き続き情報発信。</p>	
8	<p>施策シート：P17 No.20</p> <p>グリーンツーリズムの推進</p> <p>・観光客が観光農園で体験を楽しんだ後、加工品の購入やレストランで地元食材を利用した食事ができるような取り組みが必要である。水産物についても同様に、観光地としては、旬のものを提供したいという気持ちも大事ではあるが、年間を通して観光客に様々な八戸ブランドの食を楽しんでもらえる仕組みが必要である。</p>	農業経営振興センター 水産事務所
	<p>【回答欄】</p> <p>(農業経営振興センター)</p> <p>体験の前後に、観光農園の事務局であるグリーンプラザなんごう内施設の利活用について推進。</p> <p>(水産事務所)</p> <p>観光スポットとなっている陸奥湊駅前にある八戸市営魚菜小売市場の利活用を検討してまいります。</p>	
9	<p>施策シート：P17 No.20</p> <p>グリーンツーリズムの推進</p> <p>・PRのためパンフレット、チラシの作成は必要ではあるが、スマートフォン等の普及から、インターネットで検索しやすく、見やすいホームページの作成が急務と考えられる。</p>	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <p>多様な年齢に対応したPRとなるよう、事務局であるグリーンプラザなんごうと連携協力しながら進める。</p>	
10	<p>施策シート：P17 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・地域特性を生かした農林畜産業の再興が順調に進んでいるものと思われます。</p>	農業経営振興センター 農林畜産課
	<p>【回答欄】</p> <p>(農業経営振興センター)</p> <p>引き続き「八戸市復興計画」に基づき諸施策を推進。</p> <p>(農林畜産課)</p> <p>農業は当市産業の基幹部門のひとつであり、今後とも地域特性、消費者ニーズ、時機を踏まえた農林畜産業の振興に努めてまいります。</p>	
11	<p>施策シート：P17 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・受け入れる側として観光と収穫を同時に行うには人材は間違いなく不足しているように見受けられる。シニア世代や八戸地域からの収穫体験と働くことへ参画してもらう事業などはどうか。</p>	農業経営振興センター
	<p>【回答欄】</p> <p>シニア世代を含め労働としての収穫と体験とは、内容・質が異なるものであると認識。</p>	

(3) 企業活動の再興

● 質 問

No.	内 容	担当課
12	<p>意見への対応状況：P4 No.13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外マーケットの進出の実態調査は行われているのか。また、企業が独自で海外フェアへ参加する際の支援策はあるのか。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森県により、平成26年3月に策定された「青森県輸出拡大戦略」では、既に農林水産品・加工品の重要品目及び重点国が示されており、これを基に県と連携しながら各国のマーケット情報を収集しております。 ・併せて、青森県農林水産物輸出促進協議会が毎年実施する、主に東南アジアを中心とした現地調査に参加し、これを契機にベトナムの物産展開催に繋げた実績もございます。 ・支援策につきましては、今年度、「海外販路拡大支援事業費補助金」を創設し、市内の事業者を支援する方針であります。 	
13	<p>意見への対応状況：P4 No.14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい工業団地の完成はいつ頃になるのでしょうか。企業誘致促進のためにも早期の完成をお願いします。 	産業労政課
	<p>【回答欄】</p> <p>今年度、候補地選定委員会の意見を踏まえ、新産業団地の最終候補地を決定する予定にしております。一般的に、産業団地の開発には、開発用地決定後、順調に進んで6、7年程度かかると言われていることから、造成工事完了は平成34年度以降になると想定しております。</p>	
14	<p>施策シート：P23 No.15</p> <p>復興特区支援利子補給事業（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「復興特区」の用語がありますが、地域や施策内容など具体的な指定内容についてお示しください。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該利子補給に係る復興推進計画につきましては、計画の区域を八戸市全域としております。 ・本事業は、復興推進計画の区域における雇用機会の創出その他の復興の円滑かつ迅速な推進に資する経済的社会的効果を及ぼすものとして国が定める事業のうち、当市の復興推進計画の目標を達成する上で中核となる事業の実施者を対象として、指定金融機関からの資金借り入れに対し国が利子補給を行うものです。 	
15	<p>施策シート：P27 No.25</p> <p>あおり生業づくり復興特区の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業の中にある特定業種に該当する事業の中身を知りたい。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域において戦略的にその集積の形成及び活性化を図ろうとする業種であることから、既に集積が存在する業種等を勧誘しながら可能な限り幅広く対象としております。 ・具体的には、各種製造業・情報サービス関連産業等及びそれらの業種の関連産業（運輸業、各種卸売業等）となっております。 	

No.	内 容	担当課
16	<p>施策シート：P29 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P18「1. 施策情報」の市民アンケートにおける現状評価の中小企業の活性化に関して「2.0」と評価が低くなっています。市の施策への評価も含まれていると思いますが、産学官それぞれの課題認識や具体的な対応の不足などもあると思います。この点の状況について御提示ください。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市では、八戸市中小企業振興条例に基づく助成、中小企業者の事業に必要な資金の融資制度を始め、産学官共同研究に対する助成、コーディネーターによるビジネスマッチングなど、各種施策を実施しております。 ・今後も各産業支援機関とも連携し、国や県の施策を含めた各種支援策の中小企業者への周知・活用促進に努めるとともに、必要な施策について研究してまいります。 ・なお、当該項目における市民アンケートでの自由意見は3件あり、「自社に愛着や誇りを感じるひとづくり」や、「若いリーダー育成」、「県外に出た若者の受け入れを積極的に行う施策」などの意見が出されております。 	

● 意 見

No.	内 容	担当課
17	<p>施策シート：P25 No.20</p> <p>【復興】ポートセールスの展開（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内ポートセミナーの開催について、東京以外ではここ何年か名古屋で開催していますが、更なる八戸港の利用促進を図るためには他の都市での開催も必要だと思います。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は、これまでポートセミナー等を主な目的とした「八戸セミナー」を、八戸港国際物流拠点化推進協議会と連携し、東京で21回、名古屋で10回、また、これまで盛岡など東北地域でポートセミナーを開催しております。 ・今後は、西日本など、八戸港に寄港している船会社や、荷主企業等が多く立地する地域で情報収集し、開催に向け研究してまいります。 	
18	<p>施策シート：P27 No.25</p> <p>あおもり生業づくり復興特区の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産の特別償却や税額控除は設備投資を行う上での重要な判断材料になります。制度の継続的实施とこの制度の内容をより多くの事業所に知ってもらう必要があると思います。 	商工課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本制度による法人税の特例措置につきましては、平成28年税制改正により適用期限が平成33年度末まで延長されております。 ・制度開始当初から、「広報はちのへ」及び地方紙に制度概要を掲載し、広報しており、制度のさらなる活用のため、今後も周知に努めてまいります。 	

No.	内 容	担当課
19	施策シート：P28 No.28 金属粉体関連新産業創造事業 ・新技術は新たな分野を切り開く大きな要素であり、これに挑むことは地域活性化の一助になると思います。なお、SOFC（Solid Oxide Fuel Cell：固体酸化物形燃料電池）や粉末ハイス（粉末状の高速工具鋼を固めて作った材料？）の専門技術用語については、馴染みやすい言葉を付加していただくと一般の方の理解を促せると思います。	産業労政課
	【回答欄】 委員ご指摘のとおり、市民の目に触れる資料に専門技術用語を表記する際には、詳細な説明を加えるなど、よりわかりやすい資料の作成に努めてまいります。	

(4) 観光・サービス業の再興

● 質 問

No.	内 容	担当課
20	意見への対応状況：P6 No.24 ・是川縄文館の開館以降の来場者数と世界文化遺産登録へ向けての対策と予算案も教えてください。	是川縄文館
	【回答欄】 開館以降の入館者数は、H28. 7. 25現在176,401人です。世界遺産登録へ向けての対策として、各種会議への参加、課題解決のための諸作業、パネル展・フォーラム協力等のPR活動を行っており、予算は、1,267,180円計上しております。	

● 意 見

No.	内 容	担当課
21	意見への対応状況：P5 No.17 ・南郷の方たちとの話し合いのほかにもまず市民と南郷との連携を深め、それに伴う親戚友人からの繋がりからそれぞれの素材（果物・自然・スポーツ）の良さを引き出す促進方法もありと考える。	観光課
	【回答欄】 南郷では、島守春祭り、島守あきまつり、ジャズフェスティバル、ウォーキングやトレッキングイベント、ほたる鑑賞会、市民の森、山の楽校、ひまわり畑、観光農園など、子どもから大人まで楽しむことができるたくさんの観光素材があり、主催者等で周知していますが、より多くの市民に参加していただけるよう、市でも観光情報サイトやパンフレット等で南郷のPRに取り組んでまいります。	

No.	内 容	担当課
22	<p>意見への対応状況：P6 No.23</p> <p>・総務省の発表で2015年度末のスマートフォンの保有者は5割を超え、また、スマートフォンからのインターネット利用は40代はPCを2014年度より10%を超えたと統計があります。ツールとして、今後簡単にタブレット端末やスマートフォンからでもアプリの開発で、観光・名所がわかると、より広く情報発信ができるのではないのでしょうか。また、同様に求人広告等がアップしていると、若い人の目にも触れることができるので、雇用の確保にも繋がると思います。</p> <p>【回答欄】 (観光課) 観光課では、本年4月から観光情報サイト「八戸観光Navi」を開設し、当市の主要な観光資源の情報発信の強化を図っております。このサイトはスマートフォンやタブレットなど、モバイル端末からの閲覧に自動的に対応しており、簡単に観光情報が閲覧できるサイトとなっております。</p> <p>(産業労政課) 市では、スマートフォンに対応した求人・求職情報等無料WEBサイトシステム「はちのへホコテン」を平成27年1月より運用している。</p> <p>当サイトは、無料職業紹介所において取り扱っている求人・求職情報のほか、企業情報等をよりきめ細かく整理・掲載し、雇用就労ポータルサイトとして、求職者及び求人企業を総合的に支援している。</p>	観光課 産業労政課
23	<p>施策シート：P35 No.27</p> <p>はちのへホコテンの開催</p> <p>・復興支援の観点から、単に購買力を狙ったイベントではなく、子どもを含む市民が八戸市の文化・歴史・企業・産業ほか八戸を知る機会の創出の場であることが必要と考える。</p> <p>【回答欄】 今年度から、八戸観光コンベンション協会と連携し、「クイズで遊ぼう!!八戸ふるさと検定inはちのへホコテン」を開催している。</p>	まちづくり文化推進室
24	<p>施策シート：P36 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・P30「1. 施策情報」の市民アンケートにおける現状評価において、都市空間の整備に伴う街の賑わいを求める声が強くあります。中心街にとっては人口減、あるいは郊外型商業施設の台頭により日常的な集客力を維持しにくい状況があることと思います。自家用車などの普及による生活空間が分散型になる中、中心街については、コア地域としての機能を有し、他には代えがたいポテンシャルがあることから、今後も魅力引き出しに御尽力いただくようお願いします。</p> <p>【回答欄】</p> <p>・今後開設予定の八戸ブックセンター、三日町にぎわい拠点（通称マチニワ）や、新美術館建設とその周辺の整備などを進めると共に、中心街に新たな魅力を生み出すソフト事業を展開していく。</p> <p>・八戸ポータルミュージアムなどの既存の公共施設も民間と連携することでソフト事業の拡充を図っていく。</p> <p>・中心商店街空き店舗・空き床解消事業についても継続し、中心商店街の振興に努めていく。</p>	まちづくり文化推進室

(5) 風評被害の防止

● 質 問

No.	内 容	担当課
25	<p>施策シート：P38 No.3</p> <p>水浴場の放射線物質測定（再掲）</p> <p>・モニタリングは開設中一度の測定で大丈夫なものですか。</p>	環境保全課
	<p>【回答欄】</p> <p>水浴場の海水の放射性物質濃度及び砂浜の空間線量率の測定は環境省の指針により1ヶ月に1回程度とされている。なお、平成23年から測定を実施しているが、異常は認められていない。</p>	

● 意 見

No.	内 容	担当課
26	<p>施策シート：P41 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・放射性物質に対する監視体制が整備され、検出されない、あるいは基準を下回る数値であり、安全な状況は確保されていると思います。市民アンケートにおいても2.5の評価数値であり、市民にとっても安心している状況が窺われます。本書に記されない風評被害がもしあるならば、なお一層その払拭に掛かる働きかけをお願いします。</p>	農林畜産課 農業経営振興センター 水産事務所
	<p>【回答欄】</p> <p>（農林畜産課） 農林畜産課関係では、風評被害は現在特にありません。 今後とも、県や関係機関と連携を図りながら、市民が安心して食べられる安全な状況の確保に努めてまいります。</p> <p>（農業経営振興センター） 農産物について、現時点では風評被害については無し。放射性物質検査については、青森県と連携しながら継続実施。</p> <p>（水産事務所） 過去に検出されたことのあるマダラと、八戸漁港の主力魚種で回遊性のあるサバにつきましては、今後も販売前の検査を継続してまいります。</p>	

その他

● 質 問

No.	内 容	担当課
27	<p>・八戸三社大祭について、祭り期間の山車運行後にはかなりのごみが散見されていて、県外からの観光客に対しても美的に良くなく残念に思うことがあります。この件について取組をされていると思いますが、教えていただきたいです。</p>	観光課
	<p>【回答欄】</p> <p>八戸三社大祭期間中のゴミについては、出店者が設置したゴミ箱に捨てていただくか、持ち帰っていただくことが基本と考えております。祭り終了後は、それぞれの出店者が自主的にゴミの片付けを行っているとともに、八戸三社大祭期間中(7/31～8/4)と祭りの前後に、はちのへクリーンパートナー等による清掃活動が実施されており、平成27年度は延べ17団体約780名が会場の清掃活動を行っております。</p>	

3. 都市基盤の再建

(1) 市街地の整備

● 質 問

No.	内 容	担当課
28	<p>施策シート：P7 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・当該文書および関係施設等の視察から減災に対応した市街地の整備が進められていることを認識できました。ハードソフト面について災害に強い市街地づくりについて情報公開し、市民の意識付け等に役立てていただきたいと思います。ソフト面の対応状況に関連した項目が少ないことから、この点について御報告いただければと思います。</p>	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <p>最大クラスの津波に対するソフト面の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市総合防災訓練の実施 ・津波避難ハンドブックの作成及び全戸配布 ・防災マップの改訂 ・津波避難計画の改訂及び津波避難計画図の配布 	

● 意 見

No.	内 容	担当課
29	<p>施策シート：P5 No.12</p> <p>高規格幹線道路の整備</p> <p>・八戸久慈自動車道の早期の全線開通をお願いします。防災機能に加え、八戸・岩手県北地域の産業振興や八戸港の利用促進に大きな効果があると思います。</p>	道路建設課
	<p>【回答欄】</p> <p>八戸久慈自動車道の早期全線開通へ向けて、八戸・久慈自動車道建設促進期成同盟会（会長：八戸市長）として、会員市町村とともに、青森県、国、県選出国會議員等への要望活動を実施しています。</p>	

(2) 港湾の整備

● 質 問

No.	内 容	担当課
30	<p>施策シート：P12 施策を取り巻く課題や論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港の復旧・復興について着実に推進されていると思います。地域産業の国内外への販路拡大については今後も継続して働きかけを行ってほしいと思います。なお、海外販路拡大事業などの諸事業がどの程度の成果につながっているのか、あるいは、どのようなことが隘路になっているのか状況をお知らせください。 	港湾河川課 商工課
	<p>【回答欄】 (港湾河川課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港の復旧は平成25年に完了。 ・防災機能の強化として、県が防潮堤整備、嵩上げ工事などを実施中。 (商工課) <p>市は、主に農水産品及び加工品の海外への販路拡大を目的に、平成22年から台湾や香港で毎年開催される国際的な食品見本市に出展し、市内の事業者を支援してまいりました。近年は米国やベトナムで物産展や商談会を開催し、新たな商品の流通経路を確立しております。これらの事業を通じ、海外への販路拡大を図る市内の事業者は約20社にまで拡大したところであり、今後も更に拡大してまいります。</p>	

● 意 見

No.	内 容	担当課
31	<p>意見への対応状況：P4 No.10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸港の整備促進については毎年要望活動を実施していただき感謝しています。要望項目の中でも、港内の航路・泊地の水深確保については、毎年馬淵川から大量の土砂が港内に流入していることから継続的な対応が必要で、場合によっては抜本的な対応も検討していく必要があると思います。 	港湾河川課
	<p>【回答欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備局要望では、ご同席いただき感謝。 ・航路・泊地の整備については、国が土砂処分場の確保と平行して継続的に実施。 ・抜本的な対応の検討については、港湾管理者である県と、航路・泊地の浚渫を行っている国に伝える。 	

(4) 道路・公園・下水道等の整備

● 意見

No.	内容	担当課
32	<p>施策シート：P20 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・避難路等の整備が推進されていると認識します。こうした整備のもと、津波時、地域の方々の避難などの対応が迅速に図られ、災害を最小に抑えることができるよう、意識付けを促す事業を継続していただきたいと思えます。</p>	<p>道路建設課</p> <p>防災危機管理課</p>
	<p>【回答欄】 (道路建設課)</p> <p>平成28年度は、蓮沼八太郎山線 (L=200m)、橋向尻引線他 (L=576m)、2号橋向線 (L=50m) を発注し、津波避難路整備事業は全て完了予定です。</p> <p>(防災危機管理課)</p> <p>現在、避難路の整備に合わせ、避難路上に津波避難誘導標識を整備している。</p> <p>市民が、迅速かつ的確な避難ができるよう、引き続き、地域の避難訓練等への支援や津波避難計画等の周知など、防災意識の高揚に取り組んでまいります。</p>	

(5) 公共交通の維持・確保

● 質問

No.	内容	担当課
33	<p>意見への対応状況：P5 No.19</p> <p>・低床バスの導入は財源の課題もあり段階的にならざるを得ないとのことですが、高齢者のバス利用が多いことを考えれば、既存のバスのステップ改良などでもう少し乗降しやすくする工夫はできないのでしょうか。</p>	<p>運輸管理課</p>
	<p>【回答欄】</p> <p>既存バス車両は老朽化が進んでおり、バス車両そのものの更新が必要な状況となっていることから、老朽化車両の代替えを進めることにより、車両の低床化を進めていきたいと考えています。</p>	

● 意見

No.	内容	担当課
34	<p>意見への対応状況：P5 No.15</p> <p>・普段の活動を通しての実感なのだが、駅からの観光客や来訪者の駅に戻るバス停に戸惑われるらしく、一日何組もの問い合わせがある。まちの駅は場所的に案内しやすいが、表示方法を考える必要があるように思われる。一方通行であるということも含めて。</p>	<p>都市政策課</p>
	<p>【回答欄】</p> <p>本年3月に策定した八戸市地域公共交通網形成計画において、(仮称)三日町にぎわい拠点「マチニワ」のバス待合空間としての活用を検討しており、利用者にとってわかりやすい案内表示のあり方等を含め、今後検討してまいります。</p>	

No.	内 容	担当課
35	<p>意見への対応状況：P5 No.20</p> <p>・歩道の狭い八戸では無理があることは、毎日利用しているものとして同感である。半面市民利用者のマナーアップ（バスの中、待つものとして）などの別の時点からの対応を考えてはいかがかとを感じる。はちこさんの役目も含めて。</p>	都市政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>八戸公共交通アテンダントはちこの役割として、車内やバス停留所におけるアテンダ業務の一環として、利用マナーに関するアナウンスも実施しており、引続き利用者の皆様の利用マナー向上に取り組んでまいります。</p>	
36	<p>施策シート：P23 No.4</p> <p>八戸圏域公共交通計画推進事業</p> <p>・バスパックは市民も観光客も楽しめる良い取組だと思います。季節で楽しめるプログラムの開発など、今後も期待します。</p>	都市政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>圏域町村やバス事業者、バス路線沿線施設等との協議を通じ、引続き、路線バスの利用促進と圏域町村の地域活性化に資する路線バスパックの企画商品化を進めてまいります。</p>	
37	<p>施策シート：P24 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・災害時を見据えた交通対策について充実が図られており、持続可能な交通体系の確立に向けての事業が継続されていることが分かりました。また、合わせて数百ページに及ぶ八戸市地域防災計画がホームページで公開されており頼もしい限りです。このような文書を見るだけでも地域防災の安心感を抱くことができます。できれば概要をコンパクトに知る術があるといいと思います。</p>	防災危機管理課
	<p>【回答欄】</p> <p>市民が、地域の防災について理解し、避難行動が取れるよう、市民に分かりやすい八戸市地域防災計画の概要版について、検討したい。</p>	
38	<p>施策シート：P24 施策を取り巻く課題や論点</p> <p>・災害時を見据えた交通対策と持続可能な交通体系について、同じ視点で考えることができるのではと思う。公共交通を普段利用していない市民にとって、いざというときに行動・活用を促すには日常生活の中で活用し、体験しておくことが必要と考える。そのために、ノーカーデー、無料バスの日とか、体験を促す事業の掘り起こしが必要と考える。</p>	都市政策課
	<p>【回答欄】</p> <p>市民等の自発的で適切な公共交通利用を促すモビリティ・マネジメントの取組として、児童・幼児等対象の乗り方教室や市民等対象のコミュニケーションアンケートを実施するとともに、路線バスパックの企画商品化による新たなバス利用機会の提案に引続き取り組んでまいります。また、今秋の県下一斉ノーマイカーデーにあわせたバス利用促進の企画を検討しております。</p>	